

明治大学大学院

国際日本学研究科

(博士前期・後期課程)



進学相談会

研究科概要



国際日本学研究科について

課 程	博士前期課程／博士後期課程
名 称	国際日本学研究科 (Graduate School of Global Japanese Studies) 国際日本学専攻 (Global Japanese Studies Program)
学生定員	博士前期課程 入学定員 20名／収容定員 40名 博士後期課程 入学定員 5名／収容定員 15名
修業年限	博士前期課程：2年間 博士後期課程：3年間
学 位	修士 (国際日本学) / Master of Global Japanese Studies 博士 (国際日本学) / Doctor of Philosophy

研究科概要



博士前期課程、6つの「研究領域」

博士前期課程では、以下の研究領域のいずれかに所属し、研究を行います。出願時に希望指導教員が所属する研究領域を選択してください。

- (1) ポップカルチャー研究領域
- (2) 日本社会・産業システム研究領域
- (3) 多文化共生・異文化間教育研究領域
- (4) 日本語学・日本語教育学研究領域
- (5) 英語教育学研究領域
- (6) 文化・思想研究領域

研究科概要



博士後期課程、4つの研究分野

博士後期課程には、前期課程のような「研究領域」の区分はありませんが、以下の研究分野の中から、志願者の研究内容によって研究指導を行います。

事前に希望指導教員を選んで出願してください。

- (1) ポップカルチャー研究分野
- (2) 社会・情報・国際関係研究分野
- (3) 言語・国際交流研究分野
- (4) 文化・思想研究分野

研究科概要



研究科の在学生数について

現在、博士前期／後期課程には、以下のように学生が在籍しています。
多くの留学生も在籍し、国際色豊かな研究科となっています。

- (1) 博士前期課程 1年生 (15名)
日本人学生 7名 外国人留学生 8名
- (2) 博士前期課程 2年生 (14名)
日本人学生 8名 外国人留学生 6名
- (3) 博士後期課程 1年生 (4名)
日本人学生 3名 外国人留学生 1名
- (4) 博士後期課程 2年生 (1名)
日本人学生 1名 外国人留学生 0名
- (5) 博士後期課程 3年生 (11名)
日本人学生 9名 外国人留学生 2名

研究科概要



研究環境について

院生共同研究室が利用できる他、研究領域によっては個別の専用演習室でも研究活動を行うことが可能です。

- (1) 博士前期課程 院生共同研究室
36席の共同研究室。個人ロッカー等も使用可能。
- (2) 博士前期課程 領域専用演習室
ポップカルチャー、多文化共生・異文化間教育、日本語学・日本語教育学／文化・思想、英語教育学は、専用のゼミ室を利用可能です。
- (3) 博士後期課程 院生共同研究室
15席の共同研究室。個人ロッカー等も使用可能。
- (4) 教育活動支援室（1403共同研究室）
ディスカッションや打ち合わせ等が可能。事前予約により、博士前期課程／後期課程どちらの院生も利用できます。



修了後の進路先について (博士前期)



製造業・卸売業・小売業

- 富士通(株) ● I T L ジャパン(株) ●(株)グラウンドワークス：
- 生活協同組合連合会大学生生活協同組合 ●(株)クラレ

情報通信業・サービス業

- 日本IBM(株) ●KDDI(株) ●(株)Manjuu ●(株)DMM. C o mグループ
- (株)F r e e w i l l ●日本 I B M システムズ・エンジニアリング(株)
- N T T ラーニングシステムズ(株) ●Anique (株)
- 株式会社インターネットイニシアティブ

その他、教育・学習支援業等

- 私立中学・高校英語科教員 ●東京都教育委員会 ●埼玉県教育委員会
- 神奈川県教育委員会 ●公益財団法人国際人材協力機構
- 学校法人武蔵野大学

大学院進学・研究職

- 国際日本学研究科 博士後期課程
- 国立大学法人 兵庫教育大学 助教

修了後の進路先について (博士後期)



- 大学共同利用機関法人
人間文化研究機構国立国語研究所 助教
- 中央大学 専任教員
- 明治大学国際日本学部 助教
- 信州大学 専任教員
- フェリシアこども短期大学 専任教員

奨学金（給費型）



（1） 明治大学大学院研究奨励奨学金

a) 奨学金 A

- ・ 博士後期課程入学者のうち、入学試験成績優秀者に標準修業年限内（3年間）にわたり、授業料の2分の1相当額（26万円/年）を支給 ※2023年度実績

b) 奨学金 B

- ・ 博士前期課程入学者のうち、入学試験成績優秀者に標準修業年限内（2年間）にわたり、授業料の2分の1相当額（28万円/年）を支給 ※2023年度実績

（2） 明治大学私費外国人留学生奨学金

勉学の意欲を持ち、教育上、経済的援助が必要と認められる私費外国人留学生を支援するため、月額5万円を6ヵ月を上限に支給

（3） 特定研究者育成奨学金

日本学術振興会特別研究員の採用者に対して、本学大学院の学費を免除。ただし、標準修業年限内に限る。

奨学金（貸与型）



日本学生支援機構奨学金

a) 第一種奨学金（無利子）

- ・月額5万円もしくは8万8千円から選択
- ・返還免除制度あり

b) 第二種奨学金（上限利率3%）

- ・月額5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択

授業料補助制度



私費外国人留学生向けの授業料補助について

明治大学では、学業および人物ともに優れ、かつ、留学生活上の経済的援助が必要であると認められる者に対し、授業料の補助を行うことで、経済的負担を軽減し、学業の継続を援助しています。

例年、4月中旬に募集が行われます。選考を経て採用となり、且つ、全ての条件を満たした場合、授業料の4割程度（2024年度予定）の補助を受けられる制度となっています。

院生への各種助成



(1) 大学院生学会研究発表助成

日本学術会議に登録されている学会または国際学会で学術研究の発表を行う場合、交通費および学会発表参加登録料を助成する。（上限設定あり）。

助成上限回数：年度内に2回まで（うち海外は1回まで）

発表参加登録料上限：¥30,000

交通費助成上限：¥30,000（国内）

¥40,000～¥100,000（海外、課程・渡航先による）

(2) 外国語能力検定試験受験料助成

各種外国語能力検定試験受験料の助成（1回／年）。

(3) 学術論文投稿・掲載料助成

学会誌や学術誌への論文投稿時の掲載料の助成。

掲載料：¥50,000、別刷台¥10,000 をそれぞれ上限とする（1回／年）。

院生への各種助成



(4) 外国語学術論文校閲料助成

国際的な学術的刊行物への投稿論文の外国語校閲料。
¥50,000を上限とする（1回／年）。

(5) 留学予定者語学講座受講料助成

留学予定者を対象に留学先機関で使用する言語の
語学講座受講料（1回／在学期間中）。

(6) 大学院院生海外研究プログラム

海外で1～2週間程度の研究調査等を行うプロ
グラムに係る経費の一部を審査のうえ、助成。
渡航費、宿泊費を対象に¥500,000を上限とする。

院生への各種助成



(7) 大学院生研究調査プログラム

大学院生が自ら計画する研究調査活動を行うプログラムに係る経費の一部を審査のうえ助成。交通費、宿泊費、アンケート調査経費、文献資料複写費を対象に¥150,000を上限とする。

(8) 大学院博士後期課程 国際共同研究推進プログラム

海外の研究機関に所属する研究者と共同して研究に従事することを奨励するため、申請者から提出された研究計画をもとに審査を行い、経費の一部を助成する。

(9) コピーカード助成

研究活動用、学位請求論文作成用にコピーカードを支給。

明治大学大学院各種研究助成制度

https://www.meiji.ac.jp/dai_in/jyosei.html

入学試験について



国際日本学研究科

博士前期課程の入試形態



(1) 学内選考入試

(2) 一般入試

(3) 外国人留学生入試

※日本語能力に関わる入学条件があります。

(4) 社会人特別入試(一種／二種)

(5) 3年早期卒業予定者入試

博士前期課程の試験科目 (一般入試、外国人留学生入試)



(1) 専門科目(領域ごとに、論述問題・解説問題を出題)

(2) 面接試験

※出願期間までに語学能力証明書の提出が必須となります。

(出願期間を過ぎての提出は無効)(募集要項、研究科HPに明示。)

http://www.meiji.ac.jp/ggjs/info/capability_certificate.html

※筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行います。

※面接試験は筆記試験合格者のみに実施します。

博士前期課程の試験科目 (社会人特別(一種)入試)



(1) 小論文(領域ごとに出題)

(2) 面接試問

※出願期間までに語学能力証明書の提出が必須となります。

(出願期間を過ぎての提出は無効)(募集要項、研究科HPに明示。)

http://www.meiji.ac.jp/ggjs/info/capability_certificate.html

※筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行います。

※面接試問は筆記試験合格者のみに実施します。

博士後期課程の入試形態



(1) 一般入試

(2) 外国人留学生入試

※日本語能力に関わる入学条件があります。

博士後期課程の入試は、Ⅱ期(2月)のみの実施となります。

博士後期課程の試験科目 (一般入試、外国人留学生入試)



第1次試験

論文審査(修士論文)

第2次試験

- (1) 筆記試験(英語) ※研究分野ごとに出題
- (2) 面接試問

※第2次試験は第1次試験合格者のみに実施します。

※筆記試験当日の夕刻に筆記試験の合格発表を行います。

※面接試問は筆記試験合格者のみに実施します。

入試日程

博士前期課程 I 期

	出願期間	筆記試験日	面接試験日	合格発表
一般入学試験	2024年 7月5日(金) ～ 7月10日(水)	2024年 9月27日(金)	2024年 9月28日(土)	2024年 10月1日(火)
社会人特別 (一種)入学試験				
外国人留学生 入学試験				

入試日程

博士前期課程Ⅱ期

	出願期間	筆記試験日	面接試験日	合格発表
一般入学試験	2024年 11月29日(金) ～ 12月4日(水)	2025年 2月19日(水)	2025年 2月20日(木)	2025年 2月22日(土)
社会人特別 (一種)入学試験				
外国人留学生 入学試験				
3年早期卒業 予定者入学試験				

入試日程

博士後期課程(Ⅱ期のみ)

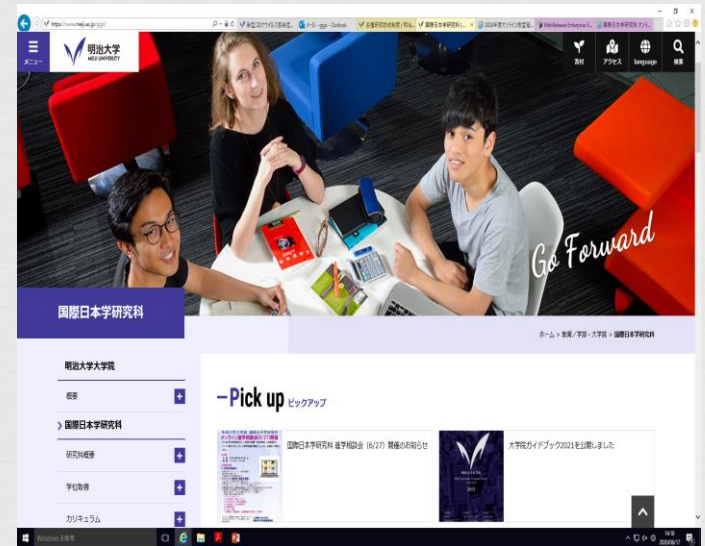
	出願期間	筆記試験日	面接試問日	合格発表
一般入学試験	2024年 11月29日(金) ～ 12月4日(水)	2025年 2月19日(水)	2025年 2月20日(木)	2025年 2月22日(土)
外国人留学生 入学試験				

募集要項・過去問題



- 募集要項は、本研究科HPから各自ダウンロードしてください。

(<http://www.meiji.ac.jp/ggjs/>)



- 入試過去問題は、本研究科HPで閲覧可能です。

(<https://www.meiji.ac.jp/ggjs/past-exam.html>)

専門科目・小論文向け試験勉強の重要性



- まずは、本研究科HPで公開している、**参考文献** (**推薦図書**)を熟読しましょう。

<http://www.meiji.ac.jp/ggjs/bibliography.html>

- その上で、専門科目(論述問題)・小論文は、論文の構成を意識した準備を行いましょう(過去問の利用)。時事的なトピックにもアンテナを張ることが重要です。専門科目(解説問題)については、各研究領域の重要な概念やキーワードを理解しましょう。

よくある質問(Q & A)



Q 1 語学能力証明書を出願期間内に提出できないが大丈夫か？

A 1 語学能力証明書は、必ず出願締切日までに提出してください。出願期間後の提出は一切受け付けません。受験もできなくなりますので、ご注意ください。

Q 2 専門科目試験の勉強方法が分からない。

A 2 本研究科HPの「入学試験向け参考文献等」で、事前に読んでおくことが望ましい参考文献等を紹介しています。参照してください。

<http://www.meiji.ac.jp/ggjs/bibliography.html>

よくある質問(Q&A)



Q 3 希望指導教員との事前コンタクトは必要か？

A 3 研究科として事前のコンタクトは義務づけておらず、必須ではありません。ただし、教員によってはメールアドレスを公開しており、事前連絡等が可能な場合もあります。

Q 4 「研究計画書」の添削をお願いしたい。

A 4 「研究計画書」は出願書類のひとつであり、入学試験の公平性を確保する観点からも、「研究計画書」そのものの添削はできません。ご了承ください。

ただし、皆さんが希望する研究テーマが、本研究科の教員の専門とマッチングするかといった相談などは可能です。

よくある質問(Q&A)



Q 5 博士前期課程入学後どんな授業を履修するのか？ 時間割は？

A 5 指導教員が担当する演習科目 8 単位と講義科目 2 単位、オムニバス講義の「国際日本学総合研究」 2 単位を含む、30 単位以上の修得が必要です。また、当該年度の授業時間割は、研究科HP上で公開しています。

<http://www.meiji.ac.jp/ggjs/syllabus.html>

Q 6 出願資格審査を受ける必要があるのか知りたい。

A 6 「学士」の学位を取得しており、15年間以上の学校教育課程を修了している者は、出願資格審査を受ける必要はありません。

「学士」の学位を取得していない者の出願は認めません。

今年度実施する入試の変更点 (2025年4月以降入学者対象)



これまでは、出願締切後・入学前に実施される「日本語能力試験(N1)」または「日本留学試験」の結果提出を認めていましたが、2025年度入学試験(2024年度実施)からは、「**出願時**」における**日本語能力証明書の提出を必須化**します。

※日本の大学・大学院を卒業・修了せず、外国の大学・大学院のみを卒業・修了(見込みを含む)した方は、「日本語能力試験(N1)」に合格するか、「日本留学試験」の「日本語」科目で、「読解」・「聴解・聴読解」の合計が270点以上、「記述」が30点以上を取得することが、出願条件になります。

※日本の大学・大学院のいずれかを、日本語で授業を受けて、卒業・修了(見込みを含む)した者は免除します。但し、日本語学・日本語教育学を専門とする教員の研究指導を志願する者は、日本の大学・大学院のいずれかを卒業・修了(見込みを含む)した者であっても、「日本語能力試験(N1)」又は「日本留学試験」の上記の基準(日本語能力)を満たすことが必須となります。